

第50回日本高次脳機能学会学術総会サテライト・セミナー

「‘文’を処理する脳：文法障害から生成AIまで」

日時 現地開催（ライブ配信無し）2026年11月7日（土）9:00～16:25（受付8:30～）
オンデマンド配信 2026年11月20日（金）正午～12月21日（月）正午
※ 資料をダウンロードいただけます。オンデマンド配信のみもお申し込みいただけます。

会場 ホテルライフオート札幌 ライフオートホール
（北海道札幌市中央区南10条西1丁目 中島公園前）

プログラムと講師

9:00 ～ 9:05	開会の辞	大槻 美佳（北海道大学大学院保健科学研究院）
◆ 臨床の視点から		
9:05 ～ 10:15	1. 失文法／統語障害と構文のリハビリテーション	菅野 倫子（国際医療福祉大学成田保健医療学部言語聴覚学科） (休憩 10 分間)
10:25 ～ 11:10	2. ‘文’の処理に必要な機能:注意・言語性短期記憶・作動記憶	吉村 貴子（京都先端科学大学健康医療学部言語聴覚学科）
11:10 ～ 11:55	3. 非流暢/失文法型進行性失語における「失文法」とは：ポイントとピットフォール	赤池 瞬（社会医療法人北斗 北斗病院／北斗クリニック） (ランチタイム 60 分間)
12:55 ～ 13:40	4. 文意性失語（semantic aphasia）をめぐる諸問題	浦野 雅世（東京工科大学医療保健学部リハビリテーション学科言語聴覚学専攻）
13:40 ～ 14:10	「臨床の視点から」のセッション全体の質疑応答追加	(休憩 10 分間)
◆ 脳科学の視点から		
14:20 ～ 15:05	5. 文法の神経基盤:文処理に特異性のある脳部位があるのか	金野 竜太（昭和医科大学藤が丘病院脳神経内科）
15:05 ～ 15:15	「脳科学の視点から」の質疑応答追加	(休憩 10 分間)
◆ LLM の視点から		
15:25 ～ 16:10	6. 大規模言語モデルは「文」をどのように扱うのか — AIと言語をめぐる新しい視点	岡崎 直観（東京科学大学情報理工学院情報工学系）
16:10 ～ 16:20	「LLM の視点から」の質疑応答追加	
16:20 ～ 16:25	閉会の辞	大槻 美佳（北海道大学大学院保健科学研究院）

※ 各講義の最後に質疑応答の時間があります。 (敬称略)

対象者 医師、言語聴覚士、作業療法士、理学療法士、公認心理師、臨床心理士、看護師、および高次脳機能障害の臨床・研究に従事している方

定員 現地参加 100名 オンデマンド 定員設定なし

※ 現地参加が定員に達した場合は、オンデマンド配信のみのご案内となります。

受講費 10,000円（消費税10%対象／内税）（本学会正会員 5,000円（消費税10%対象／内税））

ご案内・お申込みページ <https://www.higherbrain.or.jp/satellite50/>

企画 一般社団法人日本高次脳機能学会 教育・研修委員会

委員長 大槻 美佳（北海道大学大学院保健科学研究院）

副委員長 中川 良尚（江戸川病院リハビリテーション科）

中川 賀嗣（北海道医療大学リハビリテーション科学部言語聴覚療法学科）

委員 石原 健司（亀田総合病院脳神経内科）

小川 七世（春日井市民病院 リハビリテーション技術室）

数井 裕光（高知大学医学部神経精神科学教室）

小森 憲治郎（十全ユリノキ病院心理室）

種村 留美（関西医科大学大学院生涯健康科学研究科）

早川 裕子（横浜市立脳卒中・神経脊椎センターリハビリテーション部）

東山 雄一（横浜市立大学附属病院神経内科）

吉村 貴子（京都先端科学大学健康医療学部言語聴覚学科）

本セミナーに関するお問い合わせ先

第50回日本高次脳機能学会学術総会サテライト・セミナー 運営事務局

株式会社チャンネル・ツーAID カンパニー

〒063-0829 札幌市西区発寒9条10丁目1-8 E-Mail: jshbf50@ch2.co.jp

事務局 一般社団法人日本高次脳機能学会事務局

〒133-0052 東京都江戸川区東小岩2-24-18 江戸川病院内

TEL: 03-3673-1557 FAX: 03-3673-1512 E-mail: office@higherbrain.or.jp